



日本でクリスマスを祝った最古の記録が残る山口市。伝承センターでは一の坂川の蛍をテーマとしたクリスマス飾り、町家の格子に明滅するイルミネーションなどで年の瀬のまちを彩ります。

蛍かご

大殿小児童による絵画展

### ゲンジボタルを放流しました

センター土蔵で飼育したゲンジボタルの幼虫を10月10日放流しました。今年のホタルは6月2日がピーク（一の坂川・木町橋～御茶屋橋間 611匹確認）。市教育委員会の許可を得て採取、飼育箱で産卵し7月2日初孵化が確認されました。流域の子ども会と大殿小学校児童が餌となるカワナナ採取を、地域住民や関係者による川の清掃も行われてきました。

放流の集いに大殿小3、4年が参加しました。大殿ホタルを守る会・福永俊明会長挨拶の後、児童代表村野 琴さんが「川の工事などをして、自然災害から守る取り組みが進みました。自然災害はこわいけれど、ホタルがいなくなるのは私はいやです。私たちはこれからも地いきの方々の協力をえながらホタルを守る活動をつづけたいと思います。」と挨拶。山口市教育委員会・藤本孝治教育長（代理・藤本浩充教育部長）より祝辞、大殿ホタルを守る会・岡田勝栄事務局長による飼育経過報告の後、子ども達は川へ移動し約13000匹の幼虫を放流。その存在を見守ってきたいものです。



### まちづくりNEWS ◆ミニ暮音小路◆

#### 錦の御旗製作所跡ポケットパークが完成！

大内文化特定地域内の景観整備を願う大内文化街道まちなみ協議会では現在施工中の道路の美装化等について市と事前協議や要望などを行っています。この度県庁バイパス沿いにオープンした、錦の御旗製作所跡ポケットパークは協議範囲ではなかったものの、地元の方々との談義に加えて基本計画に山口まちづくりセンターとして関わらせて頂きました。

詳しい案内板は地域内の看板整備と足並みを揃え後日になるという事ですがご覧の様に来春には桜も楽しめ、夜も優しい照明なので暖かくなったら是非足をお運び下さい。



指定管理者 ~NPO 法人山口まちづくりセンター~

# 28 大内教弘

本拠山口から  
領国・海外を見据えた  
築山殿

1420～1465

官位 従四位下 贈従三位 左京大夫  
菩提寺 關雲寺（現泰雲寺・小鯖）  
墓所 興居島（松山市）

大内持世の死後、養子教弘（盛見の子。持盛の子とする説も）が家督を継ぎました。幕府の命により赤松氏追討に向かいますが、教弘に対抗して兄教幸が、少弐教頼らと蜂起したため九州へ渡り、幕府支援のもと筑前の合戦で勝利しました。

教弘は義政将軍就任祝いのため上洛しますが、他国の守護より早い段階で在国し、本拠山口での町づくりを始めていました。

筑前・博多の安定的な支配を背景に、大内氏の外交活動は新たな段階を迎えます。朝鮮から厚遇された大内氏の名を騙る偽の使節が現れ、本物の使節を判別する必要から、独自の通交証明として朝鮮国王から通信符を贈られました。遣明船では初めて大内船を出しており、次の遣明船の時には入明を求めて下向してきた雪舟も乗船しています。

将軍義政による家督争いへの介入等により、諸大名との間で対立が生まれていました。教弘も何らかの理由で将軍の不興を買い、一時期息子政弘に守護職を譲っていたようで、和解して戻ってきた教幸（道頓）が元服前の政弘の後見的役割をつとめました。大内氏は安芸の厳島教親を支援し、幕府に支持された武田氏と戦っており、また義政の勘気をこうむった越前守護斯波義敏が大内氏を頼って周防に亡命すると、幕府は大内氏討伐を命じました。さらに大内氏所領の安芸東西条を没収し武田領とするなど、関係の悪化がうかがわれます。

伊予国（現愛媛県）では、細川勝元の支持を受けていた河野通春が反乱を起こし、戦闘状態となり勝元との関係が悪化、幕府は近国の守護・国人たちに通春討伐のため出兵を命じました。教弘は



大内教弘画像（龍福寺蔵）

幕命に応じると回答します。この頃幕府は、一旦武田氏に与えるとしていた安芸東西条について教弘の知行（領地支配）を認めたり、大内氏から遣明船の費用を借用したり、大嘗会（後土御門天皇即位時）段銭（臨時に課された税）を九州の大名に催促するよう教弘に求めるなど、教弘との関係は改善されたかにも見え、病にかかった教弘のために医師を派遣しています。伊予へ出陣した教弘は興居島（現松山市）に上陸すると、将軍の意に反して通春を援助する動きをみせました。遣明船航路となる瀬戸内の制海権を握るため、細川氏に対抗し、伊予で大きな勢力をもつ通春と提携したものとみられます。しかし教弘は陣中で病死してしまいました。家督を継いだ政弘も河野氏支援を継続し、幕府の討伐対象となります。応仁の乱勃発1年半前のことでした。



興居島（愛媛県松山市・松山市教育委員会蔵）



泰雲寺（小鯖）



大内教弘供養塔（泰雲寺）

## 築山跡

いまの八坂神社・築山神社境内、料亭菜香亭跡地一帯は教弘が造営した別邸築山屋形の跡と伝えられます。政弘の代に連歌師宗祇が、築山屋形で開かれた連歌会で詠んだ発句「池は海 こすゑは夏の深山 かな」から、大規模な池のある庭園があったと考えられてきました。発掘調査により、この周辺としては大内氏館跡につぐ規模の堀がみつかりました。

大内氏掟書<sup>おきてがき</sup>では、築山の築地の上から祇園会を見物することが禁じられています。江戸時代には、毛利氏当主の代理や町奉行らの祇園会見物のため築山に棧敷が設営されました。当時は石垣があったようです。

この地に屋敷がおかれたのは、教弘が家督を政弘に譲った後に別々の居所を構えてから、教弘が亡くなるまでの間で、その後教弘を祀った築山大明神の祠が設けられたものとみられています。

宝暦末（1764 頃）までは大内時代からの大松があり、天明 2・3 年（1782・83）頃には四方を竹藪に囲まれ、一部を切り開き池を埋めて畑にしたといいます。

北西隅に残る築地跡<sup>ついで</sup>は当初の形をとどめており、石垣の石は幕末、山口新御屋形（山口城）の石垣に転用されたと伝えられます。



築山跡の築地（上豎小路）



宗祇築山句碑  
(昭和 28 年建立)



築山大明神址と伝わる石屏



築山から転用された石垣  
(香山通り)

1441	嘉吉の乱 持世死去
1442	香積寺五重塔完成
1443	山名持豊（宗全）養女を妻とする
1449	足利義政將軍就任祝いのため上洛
1451	遣明船に初めて大内船を出す
1452	師成親王親筆「李花集」相伝
1453	朝鮮国王から通信符を贈られる
1454	瑞雲寺を再建し龍福寺と改称 この頃雪舟来山 享徳の乱勃発
1459	亀童丸（政弘）妙見社上宮参詣 山口祇園会が始まったと伝わる
1460	寛正の大飢饉
1461	領国内の行程日数を定める
1465	興居島で病死（46 歳）

## 大内氏壁書と領国支配体制の整備

教弘は京都から帰国すると、本格的に領国内の支配体制の整備に着手しました。

大内氏壁書<sup>かべがき</sup>（掟書<sup>おきてがき</sup>）は領国内で適用される法令で、その一部はこの頃集中的に制定されています。訴訟の迅速化をはかるため、山口から領国内各地域までの行程日数を定めた掟書では、周防・長門・豊前・筑前に加え安芸東西条<sup>とうさいじょう</sup>（東広島市南部と呉市の一部、往路 7 日）・石見邇摩郡<sup>にま</sup>（島根県大田市、往路 7 日）から肥前神埼郡<sup>かんざき</sup>（佐賀県神崎市、往路 8 日）に及ぶ、7 カ国にわたる広大な支配領域が示されています。

袖判下文<sup>そではんくだしづみ</sup>（格の高い上意下達<sup>じょういげだつ</sup>の文書）

による知行宛行<sup>ちぎょうあてがい</sup>（土地給付）により、国人（在地領主）を大内氏の御家人とする動きがみられます。年貢高にもとづく租税制度の基礎を築き、大内氏の強大な軍事力を支えることとなります。大内氏権力の意思決定機関・評定衆<sup>ひょうじょうしゅう</sup>一重臣たちによる合議制もこの頃成立しました。

# 12月～スケジュール

教室 OB会

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
12/1	2	3	4	5	6	7
クリスマス飾り		陶芸A	陶芸A 染色	陶芸B	陶芸B	大内塗 着付
竹細工 竹細工	和裁 型染①	トール	バッチ バッチ③	和裁 レザー①	大内塗 手織	鴛流
8	9	10	11	12	13	14
こども茶の湯			竹細工	レザー②③		
竹細工 竹細工	和裁 型染②		バッチ① 染色	和裁 バッチ②		鴛流 竹細工
15	16	17	18	19	20	21
ミニ門松作り			バッチ 染色		そば打ち体験申込締切	大内塗 着付
	和裁 型染③	トール	バッチ③	和裁 レザー①	大内塗 手織	鴛流
22	23	24	25	26	27	28
町内餅つき大会			染色	レザー②③	そば打ち体験	
こども茶の湯	和裁 型染④		バッチ①	和裁 バッチ②		
29	30	31	1/1	2	3	4
休 館 日						
5	6	7	8	9	10	11
休 館 日	令和2年度貸館受付開始	陶芸A	陶芸A 染色	陶芸B レザー②③	陶芸B	大内塗 着付
	和裁	トール	バッチ①	和裁 バッチ②	大内塗 手織	鴛流
12	13	14	15	16	17	18
			バッチ 染色			
竹細工 竹細工	和裁		竹細工 バッチ③	和裁 レザー①		鴛流 竹細工
19	20	21	22	23	24	25
こども茶の湯	そば打ち体験申込締切		竹細工	バッチ② レザー②③		大内塗 着付
竹細工 竹細工	和裁	トール	バッチ① 染色	和裁	大内塗 手織	鴛流 竹細工

## イベント案内

### クリスマス飾り

期 間：12月1日（日）～25日（水）

- ・大内人形クリスマス飾り、蛍かご、ヒンメリなど
- ・イルミネーション（17:00～22:00）

日本に初めてキリスト教を伝えたサビエルは、山口を中心に布教を行いました。1552年12月24日、宣教師たちは日本人の信徒を招いてクリスマスを祝いました。

「12月、山口市はクリスマス市になる。」

日本のクリスマスは山口から実行委員会により、亀山公園（県立美術館横）に旧サビエル記念聖堂モニュメントが置かれ、各会場でイベントが催されます。

センターでは一の坂川の蛍をテーマとしたクリスマス飾りの他、期間中の夜間、豎小路（まなび館）と飯田町（豎小路から一の坂川へ抜ける小路）に面してイルミネーションを灯します。お通りの際はお楽しみ下さい。

## 体験講座等のご案内

### そば打ち体験

打ったそば3人前をお持ち帰り

日 時：毎月最終週、12月は  
27日（金）13:30～16:00

定 員：14名（抽選にて選定）  
体験料：1,000円（材料費含む）



### ミニ門松作り

正月に家の門の前などに飾る門松。新年の豊作をもたらす神様であるとともに、祖先の霊ともいわれる年神様を家にお迎えするための依り代としての意味をもちます。

近年門松を飾る家が少なくなっており、日本の伝統的な正月を再発見していただける場として、お正月用に簡単なミニ門松作りの講座を開催します。

日 時：12月15日（日）  
13:30～15:00

定 員：20名（先着順）  
参加費：800円



申込受付：ミニ門松作りは随時受け付けます。

そば打ち体験は12月20日（金）まで。

### 2年度貸館の申込受付について

令和2年4月からの新年度センター貸館ご利用お申込みについては、1月6日（月）9時から受付開始予定です。

### 山口ふるさと伝承総合センター発行

〒753-0034 山口市下豎小路12  
TEL 083-928-3333 FAX 083-932-1877  
E-mail y-densho@c-able.ne.jp  
URL <http://y-densho.sblo.jp/>

館内見学時間  
9:00～17:00  
入場料 無料